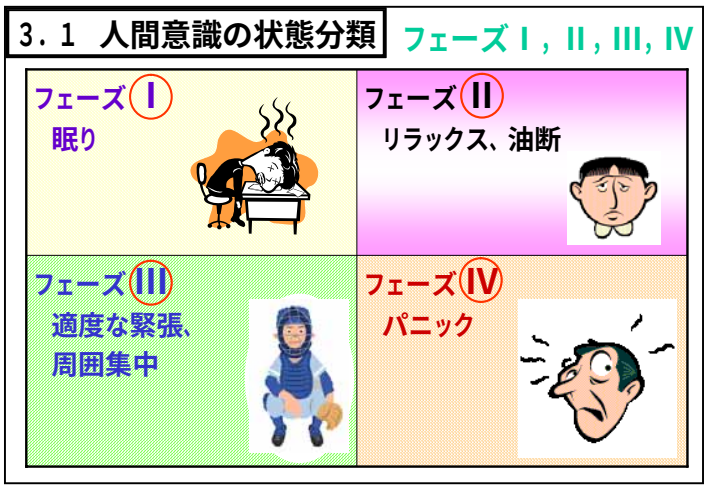
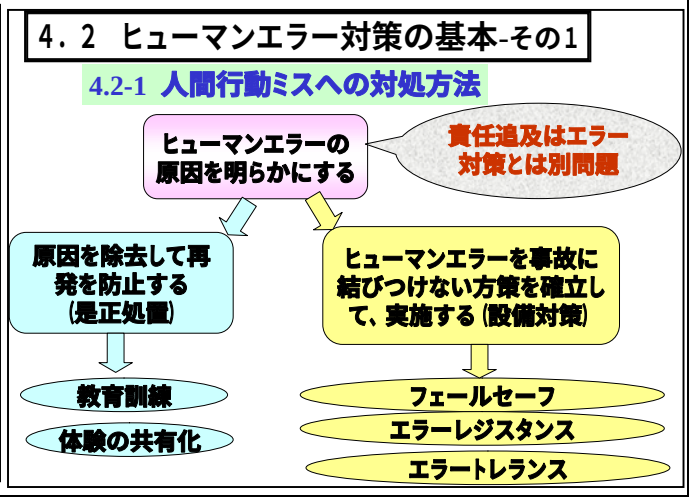
科目 No.454 リスク学事例研究6 リスクの回避と工学の役割	**講義名： NO5. 人間行動のミス低減** 講師名：長安　敏夫（SCE・Net）
講義概要	人間は ”まちがいを起こす動物” である。 うっかりミス、勘違い等をどう防ぐか。人間工学、行動心理学的解析などが大きく進歩し、人間行動の ”ミス” を防ぐ試みが進んできたことを解説する
目次	1．事故・災害の傾向と要因 2．事故への人間の関与 3．ミスを犯す人間の状態 4．人間工学的ミス対策

事故災害は20世紀の産業の発展に伴い急激に増加したが、1970年頃の安全衛生法などの整備とともに減少してきた。しかし急激な減少のあとは漸減でゼロにはなり得ない。
巨大技術システムの発展と共に事故災害要因はますます複雑化するが、あらゆるところにヒューマンファクターは関与する。

一方ヒューマンエラー（人間行動のミス）はゼロにはなり得ないものである。
すなわちヒューマンエラー対策は永遠の課題である。

本講義では、ヒューマンファクターが巨大技術システムにどのように関与するか、
その中でヒューマンエラーはどのような形で事故・災害要因となるか
の解明のヒントを与える

一方、ヒューマンエラーにはどのような形態があり、どのような要因で起きるか、を人間の本質から考察する。また、有名な原子力事故例を挙げて、ヒューマンエラーの関与を解説する。
ヒューマンエラーは避けられないものであるが、これをいかに事故に結びつけないようにするかが人間工学的ミス対策である。
最後に人間工学的ミス対策としてのリスクマネジメントのありかたを示す。